

2016年11月吉日

第35回 Cytoprotection 研究会

ご案内および演題募集要項

拝啓、時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第35回 Cytoprotection 研究会を、以下の要項で開催いたします。
つきましては、下記に御示ししました本研究会の趣旨を御理解の上、演題をご応募いただきたくご案内申し上げます。

特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナー等も予定しております。
また、若手研究者のための奨励賞も例年通り予定しておりますので、奮ってご応募・ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

第35回 Cytoprotection 研究会

当番世話人 内藤 裕二

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地
京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科内

TEL: 075-254-8520 FAX: 075-254-8521

E-mail : handao@koto.kpu-m.ac.jp

1. 日 時 : 2017年3月10日(金)
2. 会 場 : メルパルク京都(6階会議室)
<http://www.mielparque.jp/kyoto/>
3. 参加費 : 5000円(当日会場にて徴収)
4. 演題締切 : 2016年12月20日(火)

▶ ホームページ : <http://gakkai.umin.jp/cytoprotection/study.htm>

【プログラム】(予定)

◆ 特別講演

「腸管 IgA 抗体による腸内細菌選別機構」

新蔵 礼子 先生

(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科応用免疫学)

◆ シンポジウム 《サイトプロテクションの新展開》

「敗血症病態の新しい理解と血漿タンパク質 Histidine-rich glycoprotein (HRG)
を用いた治療法開発」

西堀 正洋 (岡山大学大学院医歯学総合研究科薬理学分野)

「上皮の細胞死によるバリア組織の恒常性の制御」

渋谷 彰 (筑波大学 生命領域学際研究センター)

「トリセルラージャンクションの分子構築と機能」

古瀬幹夫 (自然科学研究機構 生理学研究所細胞構造研究部門)

「細菌のつくる D-アミノ酸を介した宿主と腸内細菌叢の新しい相互作用」

笹部 潤平 (慶應義塾大学医学部解剖学)

◆ ランチョンセミナー

◆ 一般演題 (公募)

◆ 萌芽的研究 (公募)

: 若手研究者 (筆頭演者 40 歳以下) の独創性の高い研究を期待します。

※発表演題より優秀な演題については表彰いたします。

【演題募集要項】

一般演題、萌芽的演題を以下の通りに公募いたします。

1. 申し込み資格：応募者（共同演者を含む）は本研究会の会員に限ります。
（未入会の方は、事務局に連絡を取り、手続きを済ませてください。）
2. 申し込み方法：以下のように抄録を作成し、E-mailの添付書類（MS wordで作成）にてご送付ください。
 - 1) 用紙設定をA4サイズにして指定サイズ内（横15cm×縦21cm）にて作成
 - 2) 明朝12ポイント程度、行間4ポイント程度
 - 3) 演題名、一行あけて演者氏名（発表氏名の前に○印）、所属、一行あけて本文
 - 4) 枠外に希望セッション（一般・萌芽的研究演題）をご記入ください。
- ※ 送付いただいた抄録は、そのまま写真印刷致します。
- ※ 希望発表セッションの記載がない場合は、こちらで適したセッションを決定いたします。
3. 採否通知：演題の採否は、当番世話人ならびに代表世話人に御一任ください。
結果は、プログラム編成後、2月上旬にE-mailにて通知予定です。
4. 本研究会の趣旨
本研究会は種々の破壊因子に対する生体反応・防御機構に関する基礎および臨床医学の研究成果を発表し討論することを目的としています。そのため本来Cytoprotectionという言葉はprostaglandinの粘膜保護作用について提唱されたものですが、広義の生体防御の立場から本研究会の名称として採用しています。
5. 表彰
発表演題の中から、優秀な演題を選定し、奨励賞を授与いたします。
対象者は、本研究会会員の筆頭演者で、萌芽的研究演題については、研究会当日40歳以下の方といたします。是非多くの演題のご応募をお待ちしております。
6. 演題メール送信先

E-mail : handao@koto.kpu-m.ac.jp

第35回 Cytoprotection 研究会事務局

事務局 半田 修

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地

京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科内

TEL: 075-254-8520 FAX: 075-254-8521

7. 演題締切：2016年12月20日（火）必着